

アクションポート横浜 活動レポート

2024.4～2025.3

まちにたくさんの主人公を！



アクションポート横浜は
若者とNPOをつないでまちを盛り上げるNPOです

アクションポート横浜は若者がまちに関わる入口を作り、主体的に関われる場を増やします。
また、若者がまちの一員として活躍できる機会を増やしていけるよう、NPOやまちの皆さんと連携しながら様々なアクションを展開していきます。



今年も皆さんの応援で、無事に1年活動できました。
ご参加、ご協力をありがとうございました！

この1年も、多くの方に支えられ、学生スタッフやインターン生が中心となり、パートナーの皆さんと共に多様な企画を実現することができました。
外部からの相談も増え、若者の参加や活動のコーディネートの機会が広がる中、NPO法人びーのびーのさんと連携した地域コーディネーター養成事業では、子育ての現場への理解を深め、組織としても多くを学ぶことができました。

関わった若者や連携団体は延べ1500を超え、協力の輪が確実に広がっています。

これからも皆さんとのつながりを大切に、一步一步進んでいきます。

2025年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2024年度のメンバー



代表理事
高城 芳之



理事
川崎 泉子
会計事務所勤務



理事
斎藤 百合恵
会社員



理事
田中 真実
NPO法人STスポット
事務局長



<学生スタッフ>

藤島 美聡	専修大学3年
酒見 知花	明治大学3年
鈴木 麗加	多摩美術大学3年
佐藤 絢音	東京家政学院大学3年
阪本 絢音	中央大学2年
岡部 凜	桜美林大学4年
今泉 美範	明治学院大学4年



理事
原 美紀
NPO法人びーのびーの
副理事長・事務局長



理事
山岡 義卓
神奈川大学経営学部
准教授



理事
山下 耕司
横浜中華街パーキング
協同組合 管理本部部長



監事
川崎 修
(一社) なのつこの
理事・事務局長

【インターン生】

短期：佐々木 愛歌さん（明治学院大学）、金川 千紘さん（田園調布学園大学）、川島 里奈さん（法政大学）
長期：中山智萌さん（横浜市立大学）

アクションポート横浜会員

運営会員 個人14名、5団体
一般会員 個人76名、8団体

（団体会員の皆様）

NPO法人アーキシップ、NPO法人アクションおっぱま、石井造園株式会社、NPO法人WE21ジャパン、NPO法人ぐらす・かわさき、NPO法人こども応援ネットワーク、障害者自立生活センターIL・NEXT、NPO法人地域生活センター、株式会社野毛印刷社、NPO法人びーのびーの、NPO法人まち×学生プロジェクトplus、NPO法人横浜市民アクト、横浜中華街パーキング協同組合

今年もたくさんの方に参加・協力いただきました！

今年度も1000人以上の方に活動に参加・参画いただき、175団体の方々と連携をすることができました。

その内訳は学生から企業、行政、NPOと幅が広く、地域の多種多様な方々と共に地域活性の場づくりに取り組むことができているのは当法人の大きな特徴です。

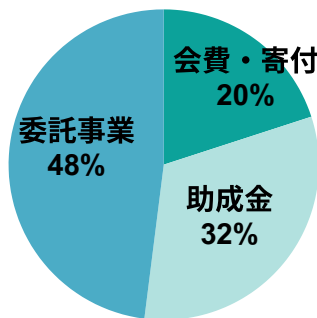
様々な方の参加の場を作れたこと、皆さんの参加と協力で活動を作れたことが何よりの成果だと思っています。

ボランティア数 **560** 人

プログラム参加数 **985** 人

パートナー団体数 **175** 団体

会計報告



経常収益：8,999,803 円

経常費用：8,224,856 円

相談件数

84 件

企業・行政・NPO・学生等からの相談

講師・事例報告

長野県NPOセンター
フェリス学院大学
駒澤大学
駒澤大学
鎌ヶ谷市・アイルゴー
いわて若者カフェ
港北区区民活動支援センター
日本ボランティアコーディネーター協会

ひょうごコミュニティ財団
いきいき埼玉
海外日系人協会
産業能率大学
ESUNE
明治学院大学
とつか区民活動センター
金沢区民活動センター
さかえ区民活動センター
大和市民活動センター
市原市教育委員会 生涯学習センター
NPO法人STスポット横浜

<委員等>

横浜市政策局横浜市男女共同参画審議会(高城)
横浜市青少年施設指定管理者選定評価委員会(高城)

新学期若者応援フェスティバル
資源問題
非営利組織論
社会参加実習
かまがや地域づくりコーディネーター養成講座2024
若者支援者向けセミナー「いわて若者応援会議」
学生と活動団体の交流会
大学ボランティアセンター職員セミナー分科会
「メンバー間でメンバーシップを育み合うコーディネーターの関わりとは」
ひょうご3基金合同「市民活動大交流会」
市民公益活動団体交流会 2024 in 北本
ボランティアマネジメント
社会貢献とボランティア活動
大谷・小鹿ではじめるまち育てプロジェクト公開作戦会議
社会福祉の理解
とつか地域活動交流会 へつながり、ひろがる！地域の場づくり～
学ぼう！若者とつながるコツ
ブラッシュアップライフ 地域活動のおはなし
センター設立20周年記念交流会
いちほら市民大学
ヨコハマアートサイトラウンジ45 文化的な活動を地域でつづけるために

メディア掲載記録

7月1日 阿部亮のNGO世界一周！
2月～ みなとみらい線ホームドアサイネージに掲載
2月18日 マリンFM出演
2月27日 神奈川区版タウンニュース掲載

2月27日 鶴見区版タウンニュース掲載
3月13日 旭区・瀬谷区版タウンニュース掲載
4月3日 戸塚区・泉区版タウンニュース掲載
4月24日 神奈川新聞掲載

NPOインターンシップ



▲活動報告書



▲HPはこちら



大学と連携を図り、学生がNPOに一定期間インターンシップ活動を実施しました。10日間の短期体験コースと6か月の長期実践コースのインターンシップを実施しました。

【参加学生人数】：64名（長期：12名 短期：52名）

【参加NPO】：21団体

【連携大学】：8大学

【継続のための寄付】 寄付総額：¥301,695

＊ご支援いただいた方：3団体、個人 28名様



【インターン参加者のコメント】

＼長期／

やまざき りな
山崎 梨菜さん
東海大学



Q. インターンの魅力は何ですか？

人々の温かさに触れられること、自身の世界を広げられることだと思います。また、子どもたちが遊びの中で成長・葛藤していく姿を近くで見られること、環境の大切さやコミュニケーションの大切さを知れることも興味深く魅力的です。

＼短期／

おおの たまみ
大野 珠実さん
青山学院大学



Q. インターンを経験して変化したことは何ですか？

対面で会う「ひと」の素晴らしさや面白さに気付くことができたことです。多様な人に出会いお話し活動することで、新たな価値観・生き方だけでなく、自分自身を紹介する能力が身につく、「ひと」の温かさや言葉の力に感極まりました。

【受け入れ団体・大学からの声】

一政伸子 さん（生活クラブ生活協同組合・神奈川）

参加したお二人から「社会の一員としての自覚がめばえた」「信頼、結びつき、アクション」「自分たちの暮らしを自分たちで良くしていく」というフィードバックをいただき、とても嬉しく、力をもらいました。

鞍馬裕美 先生（明治学院大学 心理学部教育発達学科）

学生の皆さんには、インターンシップを通じて得られた行動力や企画力、そして地域貢献の視点を大切にして、今後も活躍して欲しいと思います。

連携大学

神奈川大学、関東学院大学、専修大学、東海大学、明治学院大学、フェリス学院大学、横浜市立大学、横浜商科大学

参加NPO

NPO法人びーのびーの、NPO法人さくらザウルス、NPO法人グリーンママ、NPO法人こども応援ネットワーク、NPO法人教育支援協会南関東、NPO法人ピッピ・親子サポートネット、片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会、NPO法人スマイルオブキッズ、NPO法人リロード、障害者自立生活センター I L・N E X T、NPO法人みどり福祉ホーム、NPO法人地域生活センター、公益財団法人日本野鳥の会「横浜自然観察の森」、NPO法人ぐらす・かわさき、コトラボ合同会社「ヨコハマホステルヴィレッジ」、NPO法人横浜市民アクト、NPO法人アークシップ、国際協力NGO Act for Child、NPO法人横浜NGOネットワーク、生活クラブ生活協同組合・神奈川、NPO法人アクションポート横浜

横浜アクションアワード



▲活動報告書



▲HPはこちら



6年目を迎えた今年度の横浜アクションアワードには
10団体から応募があり、選考を通過した6団体が横浜市役所アトリウムでプレゼンテーションを実施しました。

大学一年生や高校生が活躍する団体も多く発表したことで、**若者のパワーやフレッシュさ**を感じる一年となったと同時に、昨年に引き続き若者団体見本市を開催し、**15団体がブースを構える**など、若者団体同士の交流の機会としての広がりもみせました。

【受賞団体のコメント】



大賞
NPO法人宮ノマエストロ
みやまえ塾

アワード参加を通じて活動の魅力が発信できたほか、運営の改善点にも気づけました。
また、他団体との交流で新たなつながりも生まれ、活動の幅が広がる可能性を実感しました。

今まで活動を振り返り、見つめ直すことがなかったのですが、アワードを通じて初めて向き合い、自分たちの今後の目標と活動の目的をはっきりさせることが出来ました。

自団体の強みを再認識し、また、これまで気づいていなかった特徴を新たに知ることができた機会となりました。また、他団体ともつながれたことで、さまざまな地域貢献の形があることを知れたと同時に、それぞれの活動において協力し合える関係を築くことができました。

準大賞：S.legare



準大賞：Piece of nature

【アクションマップ2025ver.の発行】

▼ダウンロード
はこちら



今年度は、昨年度作成した横浜アクションマップを**2025年版**として**アップデート**し、新たなパンフレットを作成しました。
横浜市内で地域づくり・学習支援・環境など、多岐にわたる分野で活動する**40以上の若者団体**の情報をエリアごとに集約しています。



後援

社会福祉法人神奈川県共同募金会、横浜市民政局、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会

助成

一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団

若者応援企業

株式会社安藤建設、石井造園株式会社、社会福祉法人神奈川県共同募金会、新興電設工業株式会社、武松事業デザイン工房株式会社、横浜旭ロータリークラブ

協力

神奈川県、横浜高速鉄道株式会社、審査員の皆様、アクションポート卒業生の皆様

参加団体

S.legare、三ツ境駅前商店会、NPO法人宮ノマエストロみやまえ塾、NPO法人宮ノマエストロ、FP TEENS×一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、株式会社Rip Current Production、Piece of Nature、おっち塾、ユニゲート、鶴見銀座商店街、NPO法人まち×学生プロジェクトplus、中丸町内会、フェリス学院大学ボランティアセンター、あおばコミュニティ・テラス、ほどがや市民活動センター「アワーズ」学生チーム、横浜カモメ情報局、関東軽音部、知る、伝える。ボランティア、全国学生ボランティアフォーラム

横浜コーディネーターキャンパス



▲活動報告書



▲HPはこちら



横浜市内の学生×地域のコーディネートに関わる公共施設やNPOのコーディネーターが分野横断的につながるプラットフォームとして2022年度より活動開始。

今年度は4回のゼミと、集大成としてのシンポジウムを実施しました。キャンパス登録は**3年間で56名(39施設・団体)**となりました。

3年間の開催を経て、若者・地域・行政それぞれの立場を理解し、緩やかにつながる「場」と、それを支える「仕組み」の重要性が明らかになりました。今後もキャンパスとして、その土台としての役割を担っていきたいと思っています。

【ゼミの実施】

コーディネーターが集まり、分野や地域を超えて主体的に学び合う場を作りました。



ゼミ登録：**56** 名 (39施設・団体)

参加者：**95** 名/4回

第1回： 8月30日(金)@洋光台北団地集会所

第2回： 10月18日(金)@竹山団地

第3回： 12月17日(火)@フェリス女学院大学

第4回： 2月17日(月)@男女共同参画センター横浜北

【横浜コーディネーターキャンパス シンポジウムを開催！】

日時：3月3日(月) 14:00-17:00

会場：横浜市開港記念会館 6号室

参加者：48名

3年間の集大成として、歩みを支えてくださった多種多様なコーディネーターの方々にお集まりいただき、コーディネートする中で感じた、各分野、フィールドにおける課題、想いを共有する場を設けました。開催を通じて、横断的なつながりづくりの大切さや、横浜コーディネーターキャンパスの存在意義について再確認することができました。



【世話人会の発足】

横浜コーディネーターキャンパスは、2025年度より世話人による運営を開始します。



樋口誠さん(十日市場地域ケアプラザ) 北川 有紀さん(ほどがや市民活動センターアワーズ)

南 太貴さん(よこはまユース)、中嶋 伴子さん(とつか区民活動センター)

黒川友希子さん、日暮 悦明さん、若林 拓さん(横浜市社会福祉協議会)

森 博昭さん(不老町地域ケアプラザ)、濱田 妙子さん(川島地域ケアプラザ)

細野 瑞希さん(洋光台地域ケアプラザ)、小林 潤一さん(原宿地域ケアプラザ)

東田 信子さん(ラシク045)、大久保智弘さん(あおばコミュニティ・テラス)

原島 隆行さん(まち×学生プロジェクトplus) 高城 芳之、中山智萌(アクションポート横浜)

【参加者の声】 樋口誠さん(十日市場地域ケアプラザ)



キャンパスゼミに参加し、地域の方々と直接交流できたことは貴重な経験でした。座学だけでは得られない生の声を聞き、地域の課題や魅力を肌で感じることができました。学生と地域が連携することの重要性とコーディネーター再認識しました。今年の世話人会としては「田舎のお母さんが愛情込めて手作りしたクッキーのように温かみを感じられる」地域活動に役立てられる発信をしていきたいです。

ヤマト繋がるプロジェクト

パートナー：ヤマト運輸



▲活動報告書



▲HPはこちら



ヤマト福祉財団の助成のもと、ヤマト運輸労働組合青年部とアクションボートの大学生と一緒に福祉のボランティアを企画・実施。

プロジェクト4年目の今年は参加者がほぼ一新。「挑戦と継承」をテーマに、新たなメンバーで積み重ねを活かしながら挑んだ1年でした。約140人が参加し、満足度は95%！
つながりの中で生まれる温かさを多くの人に届けることができました。

みんなで繋がる宝探し



うちわを仰いでカラフルで賑やかな空間を楽しもう！



シートにペイント！
～世界に一つだけのランチョンマット・テーブルクロス作り～



【参加者の声】

- ・企画から当日まで企画学生と利用者と職員と一緒に楽しめたことが良かった（連携施設）
- ・当日ボランティアや先輩、社員の方たち、何より来てくれたお子さんやご家族の方たちと交流を交えながら楽しむことができた（学生ボランティア）
- ・大人になってからは企画側に携わることがなかなか難しくなってくるので、とてもいい機会になった（企画チームのヤマト社員）

協力

ヤマト運輸労働組合、NPO法人こんちえると、野七里地域ケアプラザ、都筑区子育て支援センター Popola、都筑区地域訓練会 とまとのうち・ばなのうち、東戸塚地域活動ホームひかり、とつか区民活動センター

助成

公益財団法人ヤマト福祉財団

横浜サンプラプロジェクト

「横浜に笑顔をプレゼント！」をコンセプトにサンタとなって横浜に笑顔を届けるプロジェクト。
清掃活動には171名が参加しました。

日時：2024年12月14日（土） 11:00-15:00



実行委員会

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社overcom、ソーホージャパン株式会社、株式会社野毛印刷社、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会、NPO法人アクションボート横浜

助成

株式会社アマネクト、城南信用金庫、ソーホージャパン株式会社、株式会社野毛印刷社、ファイナンシャル・ジャパン株式会社、中越パルプ工業株式会社、ナカノ株式会社

協力

西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート

横浜（港北）こどもの育ち まるごとスイッチON！

パートナー：認定NPO法人びーのびーの

▲HPはこちら



認定NPO法人びーのびーのさんにお声かけいただき、こども家庭庁の「はじめての100ヶ月の育ちビジョン」地域コーディネーター養成事業のモデル団体の事業に参画しました。

本事業には学生コーディネーター2名が参加し、定例会議や各プロジェクトへの参画、報告会での発表など、幅広く活動させていただいた。子育て当事者ではない学生の視点が現場に新たな気づきをもたらし、現場の皆さんからも良い反応を得ることができました。

○主な活動

- ・コーディネーター研修への参加
- ・ヨコアリくんまつりブース出展
- ・産前産後のおうち訪問
- ・ふれあい体験への参加
- ・よるよるの会
- ・毎月の定例会議への参加
- ・ブログの発信
- ・運営事務局への参加

○「はじめての100か月の育ちビジョン」事業報告会の開催

日時：3月13日（木）15:00-17:00

会場：横浜市港北区民文化センターミズキーホール 4Fギャラリー



宮代藍さん
(明治学院大学3年)

【コーディネーターとして参加した学生の声】

ふれあい体験を通じて、学生や地域の人々が子育て家庭に関わる意義を実感しました。赤ちゃんとの関わりから命の尊さを学び、「赤ちゃんは泣いても可愛い」「街で声をかけやすくなった」といった感想もありました。小・中・高それぞれの年齢ならではの関わり方があり、特に中学生の積極性が印象的でした。今後も広めたい活動です。

学生の活動報告はこちら



NPOインターンシップラボ

NPOインターンシップを運営している団体やこれから運営したい団体が集まるネットワーク組織“NPOインターンシップラボ”の事務局を担当しました。主にオンラインで全国の仲間と活動しました。



企画メンバー

市川 徹さん（一般財団法人 世田谷コミュニティ財団）、川原 直也さん（NPO法人いわて連携復興センター）、戸井田 由奈さん（認定NPO 法人長野県NPO センター）、中山 裕貴さん（NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク）、橋本 空さん（一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス）、高城 芳之（NPO法人アクションポート横浜）

ご相談・お声かけから広がったプロジェクト



ネットワーク会議の企画運営

横浜市市民局

横浜市市民局市民協働推進課が主催するネットワーク会議の企画運営に関わりました。

市内の市民活動センターのスタッフに向けて、学生と地域をつなぐ事例からコーディネート意義や役割を考える時間を作りました。

第1回「学生と市民活動団体等をつなぐ」 7/30（火）

第2回「学生をつなぐ」から考えるセンターの役割 1/20（月）

神奈川県SDGs交流会の企画運営

神奈川県いのち・未来戦略本部室



神奈川県いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループから依頼を受け、「世代を超エール交流会～SDGsでつながる大学生×企業交流会～」の企画運営を担当しました。アワード参加団体など7つの学生団体と企業の交流を通じ、相互理解と連携を促進しました。

日時：3月19日（水）14:00-17:00

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス1階

「横浜未来の実践会議」への協力

横浜市政経営局



横浜市政経営局共創推進室共創推進課が主催する3月23日(日)「横浜未来の実践会議」に向け、横浜市の声かけで学生主体の企画・運営を実施。

あおばコミュニティテラス、よこはまユース、アクションポートの学生が参加しました。

GREEN EXPO 2027を見据え、若者が「持続可能な横浜の未来」について考え行動する場として、今後も継続予定です。

かながわNPO伴走応援プログラムへの参加

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわからの声かけで神奈川県が実施する「令和6年度NPOの組織基盤強化のための伴走支援事業」に参加し、NPOの伴走支援を担当しました。

世代交代や資金獲得に課題を抱えるNPOに数ヶ月間伴走をし、解決策を共に考えました。

「福祉よこはま」への学生ライター派遣

横浜市社会福祉協議会からの相談で、昨年度に引き続き、広報紙「福祉よこはま」に学生ライターのマッチングを行いました。学生ライターが書いた記事が「福祉よこはま」掲載され、学生・社会福祉協議会双方への機会提供をすることができました。

神奈川県ライフキャリアセミナーへの講師派遣

神奈川県福祉子どもみらい局

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室男女共同参画グループからの声かけでライフキャリアセミナーの講師を担当しました。

10月23日（水）14:15～15:20@横浜女学院中学校

10月30日(水)13:40～15:30@崎市立柿生中学校

3月17日（月）11:30～12:15@秦野市立本町中学校



2024年度の活動ロードマップ



学生スタッフが新体制で始動



かながわユースフォーラム出店



どろんこバレーに参戦、優勝！



長野県NPOセンターの事業に登壇



総会を開催



キャンパスメンバーで視察会

4月



6月



8月



阿部亮のNGO世界一周！出演



こども家庭庁を訪問



6名のインターン生が始動



ヤマト繋がるプロジェクト
キックオフ



いわて若者カフェのセミナーに登壇



キャンパスゼミ開催



ひょうご3基金合同
「市民活動大交流会登壇」



新年会で卒業生大集合！



アワード開催に向けて毎日準備



NPOインターンシップ長期定例会



100ヶ月プロジェクトワークショップ



金沢区民活動センター
学ぼう！若者とつながるコツ登壇

10月

12月

2月



キャンドルナイト@神奈川大学へ



学生サンタ企画を開催



卒業生送り出しパーティー



アワードの一環で中学校で授業



2024年度
長期インターン生
中山智萌さん
(横浜市立大学)

<インターン生として活動に関わって>

これまでは名前を聞いただけでは漠然と「地域に関わっている場所」というイメージしかつかなかった施設や組織の特徴が、活動を通じて具体的に理解できるようになりました。そうした社会の仕組みが具体的にイメージできるようになったのは、幅広い繋がりを持つアクションポートで活動したからこそだと感じています。また、報連相を始めとした、実生活で生きる沢山のスキルも学ぶことができました。これから社会に出る上で当たり前になる能力を、なんのために？を考えながら学べたこのインターンは、本当に価値ある経験だったと感じています。

卒業する4年生スタッフからメッセージ



今泉 美範さん

4年間APYで活動をさせていただいた、明治学院大学の今泉美範です。今まで大変お世話になりました。私の学生生活の中で、特に色濃くしたのが「APYとの出会い」「ヤマト繋がるプロジェクトでの活動」です。活動の中で「私は支えられている」ということを学びました。話を聞いてくれる人、悩んでいるのに気づいてくれる人、共に働こうとしてくれる人、私たちの活動を面白いと思ってくれる人。感謝の気持ちでいっぱいです。私は皆さんのおかげで1人じゃなかったです。春からの社会人も頑張ってください！
今後とも横浜に行った際はお世話になります！

アクションポートの1人として、"とにかく人に出会い、想いに触れまくり、突っ走ってみた"、そんな信じられないくらい濃い1年でした！できないことがあるからこそ人とつながって乗り越える本物の人間力、本当の意味で人と向き合うということをアクションポートでは学ばせてもらいました。周りの人と関わり合って、ぶつかり合うことで少し成長できた自分が何より嬉しいです。全ては支えてくださった皆さんのおかげです。
引き続き、よろしくお願い致します！



岡部 凜さん

アクションポートを応援してください！

アクションポートでは一緒になって活動を支えてくれる仲間を募集しています。

○会員制度

運営会員	学生	1口	5,000円／年
	一般	1口	10,000円／年
	団体	1口	10,000円／年
	企業	1口	100,000円／年
一般会員	学生	1口	3,600円／年
	一般	1口	6,000円／年
	団体	1口	6,000円／年
	企業	1口	30,000円／年

○寄付も随時募集中！

マンスリーサポーターやプロジェクトへの寄付など、随時募集しています。

[会員登録・寄付はこちら](#)



アクションポート横浜

検索



発行 2025年7月

NPO法人アクションポート横浜

〒231-0023 横浜市中区山下町94番地横浜中華街パーキング協同組合内

TEL：045-662-4395

Mail：info@actionport-yokohama.org

URL：https://actionport-yokohama.org/